

## 『愛・Love・デンチャー』

(株)カナイナビデント 金井孝行

### 抄録

高齢化社会を迎えて、いまだに景気の回復がなかなか進まない。さらに歯科技工界は、デフレや若い歯科技工士の離職等で良い状況とは考えられない。

しかし、患者の歯科治療に対するニーズは老若男女を問わず高まっている。ニーズに応える様に現在ではインプラントが、増えて来ているがリスクもあり、すべてのケースに対応が難しい。

そこで、注目するのがメタルフレームデンチャーだと考えます。

私の講演テーマが、『誰でも簡単にわかる・できるメタルフレーム』としてメタルフレームデンチャーの講演等を若手の歯科技工士及びビギナーに向けて発信してきました。

そして、歯科技工士がデンチャーを作る楽しみを知り好きになって頂きたいので、『愛・Love・デンチャー』をテーマにしました。

また、メインテーマと別に、もう一つサブテーマとして Harmony of the Oral Cavity (口腔内の調和) を考えています。

今回は、サブテーマの Harmony (調和) の大切さを同時に伝えたい。

多分誰もが日常メタルフレームの設計 (スタンダードデザイン) を行なう上で何度か考え込んだ事があると思います。しかし設計は歯科医師が行なうのですが、デザインを知る事でアドバイスができ、コミュニケーションがとれ歯科医師と信頼関係が生まれます。

デザインの目的として口腔内に、メタルフレームデンチャーをセットした時に、痛くない事、口腔内が狭くならない事 (違和感、舌感など)、舌感とは (メタルフレームデンチャーをセットした時に患者が舌で触れる凹凸)。その時に必要以上の凹凸と圧迫感、痛みを感じると不安になり、なかなかメタルフレームデンチャーを受け入れてもらえなくなる。そこで、セット時の第1印象を良くする為のスタンダードデザインを考える。

今回、私の考える HARMONY (ハーモニー) は、派手なデザインではなく口腔内に凹凸が少なくシンプルで強度がある事を基本とします。

このようなメタルフレームをシステム化してより速く、正確に、簡単に製作する方法をお話し出来たらと考えます。

また、歯科技工士のこれからの役目、方向などを知る事で、メタルフレームをカスタムしインプラントと共存し、患者のニーズに応えられるプロの歯科技工士になれると考えます。お伝えたい事が沢山あります。講演の参加をお待ちしています。